

平成 30 年度 神戸市立図書館
事業評価

令和元 年 7 月
神戸市立図書館協議会

平成 30 年度神戸市立図書館事業評価

神戸市立図書館協議会は、事務局から提出された平成 30 年度の図書館サービスの自己評価について協議を行い、「平成 30 年度 神戸市立図書館事業評価」として公表する。

評価の基準

- A：計画どおり実施し、一定の成果があった
- B：概ね計画どおりだが、不十分な点や課題が残った
- C：不十分な点や課題が多く、計画どおりにいかなかった

平成 30 年度の取組項目と具体的取組及び評価項目

図書館事業評価一覧	
平成 30 年度の目標と行動計画	
1. 図書館資料の充実と外部データベースを用いた情報提供により、市民がライフステージに応じて、仕事、教育、福祉、法律などについて自ら学び、課題を解決できるよう支援する。	
評価のポイントと取組事例	<p>(1) 国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスの提供 85 件 282 冊</p> <p>(2) レファレンス協同データベースへのデータ提供（図書館のレファレンスサービスや一般利用者の調査研究活動を支援するため、公共図書館、大学図書館等が協同してレファレンス事例、調べ方マニュアルなどのデータを蓄積、インターネットで公開するデータベース構築事業への参加とデータ提供） 登録 108 件 被参照件数 240,128 件</p> <p>(3) 貴重資料デジタルアーカイブズやデータベースの利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出前トーク「図書館貴重資料に見る“こうべ”」（中央）6/12 日本通運OB会 ・ 展示「貴重資料デジタルアーカイブズで見る明治期の神戸観光地 神戸名所」（中央）4/10～4/30 ・ 展示「語り継ぐ『神戸市大水害』～貴重資料デジタルアーカイブズ」より（中央）6/27～7/16 ・ 展示「湯のまち有馬～神戸市立図書館の蔵書で見る」（中央）1/10～1/30 ・ データベースセミナー（三宮）4 回 <p>(4) 課題解決につながる講座等の実施と参加者の声等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「管理栄養士さんといっしょに！クスリいらずのカラダをつくろう！」（兵庫）6/24 13 人 【参加者の声等】 「普段からの疑問が解明できて良かった。」「日常でできそうな健康法を知る事ができた。」 講師の方に熱心に質問される姿も見られた。 ・ 「栄養士さんに教わる“血液サラサラ健康講座”」（北・北神）11/23 12 人 ・ 「中国帰国者図書館見学会」（新長田）7/3 12 人 NPO 法人神戸定住外国人支援センター連携 【参加者の声】 「児童の大活字本があるのが良い。」「中国語の絵本があるなんて知らなかった。子供に読ませたい。」 ・ 「障害者が地域で暮らすこと@図書館」（兵庫）12/7 6 人 自立生活センターリングリング連携
評価	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貴重資料のデジタルデータを紹介する出前トークや展示を行いPRに努めた。 ・ 講習会を開催し、データベースや蔵書検索システムの利用に馴染みのない利用者への周知を行った。 ・ 定住外国人向けの見学会を開催し、利用促進に努めた。 ・ 身近な問題をテーマに課題解決につながる講座を開催した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスの印刷物の提供について、検討中。
<p>評価</p>	<p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この部門は、図書館が市民の日常生活に役立つことを実感できる場所だと思います。(4)の講座ですが、回数がもう少し多く開催出来たらよいと思います。 ・(1)国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスの参加館にはなっているが、閲覧のみで印刷ができない状況が続いている。近くの政令指定都市では大阪市や、明石市をはじめとする兵庫県下の幾つかの自治体の図書館で閲覧・印刷共に提供できていることが、神戸市でできないことはないと考えられるがいかがか。 ・(2)定住外国人向けの図書館見学会を新長田図書館で開催したことは高く評価できる。しかし、楽天 OverDrive の電子図書館サービスの実証実験を行っているのであれば、浜松市立図書館が浜松市南部協働センターで開催した、フィリピン人の親子 49 名が利用者カードをその場で作り、電子図書を借りて図書館利用ができると喜ばれたような取り組みを神戸でも実現すべきであると考えられる。 ・課題解決につながる講座等の実施は、従来の図書館活動を越えた積極的活動として高く評価できる。 <div data-bbox="1211 817 1377 967" style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>評価</p> <p>B</p> </div>

2. 課題解決を支援するレファレンスサービスの一層の周知に努める。	
評価のポイントと取組事例	<p>(1) 各種ブックリスト、パスファインダー（特定のテーマに関する資料の探し方、基本図書、図書館の使い方などを簡単にまとめたマニュアルや利用案内）の作成配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスファインダー <ul style="list-style-type: none"> 「どうぶつ（ほにゅうるい）」他（兵庫・北・北神） 改訂版「世界遺産」他（東灘・灘・三宮・新長田・須磨・垂水・西） ・ブックリスト <ul style="list-style-type: none"> 「鈴木商店と金子直吉」「楠正成と楠公墓碑」（中央） 「食の知恵」（北） 「お仕事」（西）※中高生向け展示本リスト <p>(2) 図書館利用案内の展示や企画の実施と参加者の声等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示「ブックリスト郷土編をご利用ください」（中央）5月 ・展示「図書館で調べてみよう～国語・理科・社会・ふるさと」（中央）8月 ・展示「1年かけて西図書館を探検しよう」（西） <ul style="list-style-type: none"> ※月ごとにNDC（日本十進分類法）の分類番号を決め、関連図書を展示 ・「LOVE LOVE LIBRARY 西図書館講座」（西）6/8・6/22・6/29 各回5人 ・「孫と楽しむ図書館ツアー」（東灘）9/17 6人 <ul style="list-style-type: none"> 【参加者の声等】 「孫と一緒に楽しめてよかった」「クイズを通して孫の成長が見れた」「図書館のことを詳しく知ることができた」という感想の他、行事名と日付を入れたプレートを持っての写真撮影が「今日の記念になる」と喜んでいただけた。 ・「図書館バックヤードツアー」（中央）10/20・10/27 13人 <ul style="list-style-type: none"> 館内見学40分、ブックコート体験35分 ・「大人のための図書館ツアー」（三宮）11/23 3人 <ul style="list-style-type: none"> 【参加者の声等】 説明に熱心に耳を傾けておられ、今後は図書館を有効に活用したいという感想もいただいた。 ・「図書館べんりガイド」（須磨）10/28 9人
評価	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料展示のテーマや時季に合うブックリストを作成、配布。パスファインダーも追加作成。既にあるものも内容を見直し、必要な改訂を行った。 ・調べ物に活用いただけるようブックリストを紹介するパネル展示を開催。夏休みの時期に合わせて教科別でも開催し、クイズ形式の展示も取り入れ、幅広い年代の方に興味をもってご覧いただけた。 ・見学イベントを実施し、図書館に親しんでもらえるよう利用を促した。

評価

【図書館協議会の評価・意見】

- ・調べることを支援するリファレンスサービスだけでなく、各年齢層，関心に応じた試みは，ネット検索が主流の中にあって，図書館ならではのより身近な検索機能をアピールするものとして評価できる。
- ・図書館がより身近に感じられるようになる企画として、図書館ツアーが、各館で開催されているのは良いと思う。
- ・講座やツアーのなかに参加者が少ないものがあるのが、少し気になる。
- ・デジタル・ネットワーク社会における公共図書館の新たな役割を考える時、リファレンスサービスの高度化と同時に簡便化を図るために、ディスカバリーサービスを導入し、紙媒体中心、所蔵資料中心のリファレンスサービス体制を改める必要がある。現在、市民は図書館 HP の OPAC（オンライン閲覧目録）で所蔵資料を検索するだけであるが、図書館がディスカバリーサービスを導入することによって、さまざまな疑問に関して、歴史や文化、農・工業に繋がる専門的・先進的情報を市民が普段から活用できる。そのような環境を整えることが、これからの地域活性化への基盤作りになると考える。

評価

B

3. 本を仲立ちに人が集まり交流する場として、市民参画型の企画行事を実施する。

評価のポイントと取組事例

(1) 講演会、セミナー、工作教室、映画会等の実施（開催回数、参加人数、参加者の声等）

講演会等実施回数 236回 4,789人

- ・こどもの読書週間行事講演会「石井桃子さんのおくりもの」（中央）4/28 240人
【参加者の声】石井桃子さんの言葉に対する熱いや思い子どもに対する姿勢が心に残った。子どもたちにより本をという情熱が伝わってきた。自分のやっている活動を続けていく上での元気をいただいた。
- ・講演会「カナダと日本をつなぐ『赤毛のアン』～作者 L.M. モンゴメリの旅路～」（中央）10/8 69人
【参加者の声】詳しい丁寧なお話に感銘を受けた。L.M. モンゴメリに関心をもった。これからも機会があれば参加したい。
- ・講演会「本を届ける一出版の世界と図書館」（中央）10/21 55人
【参加者の声】 出版社、書店に携わる方の生の声を聞くことができ、本当に良かった。本に対する熱意を感じた。
- ・映画会（灘）月ごとのテーマを決めて開催
- ・バリアフリー映画会（東灘）3/17 20人（灘）4月他
- ・大人向けの朗読会（中央・灘・新長田・須磨）計342人
- ・「大人のためのストーリーテリング」（北神）11/7 43人
- ・「大人のための絵本会」（垂水）12/22 5人
- ・「みんなで楽しむ音読の会」（中央）3回 31人
- ・「英語 de 読書会」（灘）8回 計85人
- ・「中身は何か？本のおたのしみ袋～今度は大人」（新長田）10/16～11/2
- ・「楽しい絵手紙講座」（北神）4回 25人
- ・大人が楽しむ折り紙の会（新長田）11/10 8人
【参加者の声等】関連本のブックリストも作成。苦戦した方からも「もう一度チャレンジしたい」というコメントや「難しかったので」とやや優しい折紙の本を借りて帰られた方もおり、全員に満足してもらえたようである。
- ・大人の工作教室「巻物 de 自分史」（須磨）11/11 6人
【参加者の声等】全員が2本目の巻物を作成。楽しかった、巻物が素敵でうれしいと、とても喜んでいただけた。
- ・「わくわく★工作ひろば」（東灘）8/19 194人
- ・夏休み工作会「カスタラッコをつくろう」（中央）8/23 8人
- ・おりがみ工作&おはなし会（中央）10/27 23人
- ・紙しばい「ありがとう！六甲山」のお話し会（全3回公演）（中央）11/11 64人
- ・図書館クイズラリー「ともだち100にできるかな!？」（新長田）3月 127人
【参加者の声等】「とても楽しんで出来た。子供がクイズに使われていた本のシリーズ本を借りたいというので借りることにした。定期的にやってほしい」
- ・「親子新聞教室」（東灘・三宮・須磨・垂水・西）110人
- ・おひぎのうえの（パパ&赤ちゃん）おはなし会（北神）7/15 16人
【参加者の声等】「他の家族のご様子が聞けてとてもよかった。」「色んな遊びができた。」手遊び、ふれあい遊びでは男性ならではの力強い動きに赤ちゃんたちの歓声があがっていた。交流会では、子（孫）育ての大変さと喜びを語りあい、世代を超えた交流ができた。
- ・「パパ、ほんよんで!」（西）1/14 10人
- ・育メンおはなし会（東灘）3/30 10人

(2) 参加型展示

- ・「ぶらっと一言コーナー」（新長田）「おたよりコーナー」（灘・垂水・西）※図書館への質問やお手紙
- ・「どくしょの木」「読書のみなど」「読書のそら」「読書の家」（灘・西・三宮・新長田・垂水）
※本の感想
- ・「本のわ」コーナー（北）「あなたにこの本おすすめし隊」（北神）※おすすめ本の紹介
- ・「集えオススメ本」（垂水）※利用者のオススメ本を募集し、展示
- ・「みんなで馬場のぼる」（三宮）3/29～4/10

	<ul style="list-style-type: none"> ・「魚およぐ図書館～こいのぼり大選挙～」(垂水) 4/22～5/12 ・「わらしべBOOK」(新長田) 10/16～ ※利用者おすすめ本のリレー (5冊) <p>(3) ワークショップ等来館者の参加と交流を促進する企画の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ちいきいと vol.24 神戸市民ならこれを読み 篇」(兵庫) 6/10 67人 ※神戸市内の地域を代表する人達が、与えられたお題(書名)に対し用意した写真(地域に関連した)で行う、大喜利形式のトークイベント ・「イチオシ! 中高生読書交流会」(北) 8/9 16人 ・ワークショップ「絵本作家山本隊長と行く! マリンスノー深海探検隊」(須磨) 8/19 99人 ※できるだけ多くの方に参加いただけるよう、イベントは終わった方から退場し、次の方に入っていただく「流し」の形式をとった。 <p>【参加者の声等】</p> <p>「手ぶらで参加できたイベントなのに、すごく満足でした。」、すぐに入ることができなかった方からも「待っていてよかった。人気なイベントに参加できてうれしい」というお声を頂いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなちがって みんないい@図書館」(兵庫) 3/21 46人 ※ダウン症児保護者の情報交換等。昨年に続き2回目を開催
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価</p>	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な年代・興味に応えるイベントを各館で工夫を凝らし実施。 子育て世代の男性も参加しやすい形でのイベントを開催する館も増え、読み聞かせ、手遊びのほか絵本の選び方のアドバイスなどを行い好評であった。 ・児童やYAのコミュニケーションを図るとともに、読書への興味や関心を引き出す参加型展示を実施したほか、来館者おすすめ本のリレー形式での展示も初めて行った。 ・図書館を通して地域や人に親しみ、交流を生むイベントを開催。より多くの方に参加いただけるような工夫も行った。満足度も高い。 <p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多彩な行事を実施していることは評価したい ・楽しそうなイベントや企画が多くあり、良いと思います。「定期的にやってほしい」という声のでた企画については、継続して実施することを望みます。 ・子ども向けの工作教室など、参加型の企画は学校でも紹介でき、本を活用する場面につながっていくと思われます。 ・(2)講演会「本を届ける一出版の世界と図書館」(2018年10月21日、55人)は神戸市立図書館としては画期的なイベントであったと考える。ビジネスとしての書店、知のインフラとしての図書館が出版の世界を拓げ、持続可能な出版メディアのこれからのあり方を模索するという意味で、ゲストスピーカーの発言はきわめて明快かつこれからの方向性を予感させるものであった。 ・図書館の新たな機能として、積極的に市民に働きかける活動して大いに評価できる。 ・講演会、セミナー、工作教室、映画会等の実施について、236回4,789人を集めたことは高く評価することができる。ただ、イベント内容が昔ながらの図書館の枠組みを超えていないのが残念である。例えば、ドローン、3Dプリンタ、ロボットのような新しい科学技術に関するイベントの開催を積極的に目指すことによって、人文社会系、社会科学系に偏りがちな図書館を変えることが可能となり、ヤングアダルト層を図書館利用者として迎え入れることができると考える。 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 20px auto;"> <p style="text-align: center;">評価</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</p> </div>

4. 地域に関する情報の確実な収集に努めるとともに、特に市政に関する資料については、市民の理解を深め、地域の課題解決に役立つよう、関連部局と協力し紹介方法を工夫する。	
評価のポイントと取組事例	<p>(1) 図書館からの情報発信として業務に役立つ、市職員向け新着図書案内等のメールマガジン送信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新着図書情報 46回（中央） イベント案内等 17回（中央） ・児童向け図書館だより「としょ☆ぴか」（毎月発行）を、市立小学校・幼稚園に送信 <p>(2) 食育や土砂災害防止、自殺予防などの取組みを進める関係部局と連携し、市民の理解や知識の普及に資する展示を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯と口の健康週間関連展示「大切な歯のために～歯から健康」（中央）6月 神戸市口腔保健支援センター連携 ・自殺予防週間関連展示9月、自殺対策強化月間関連展示 3月（中央・東灘・灘・三宮・兵庫・北・新長田・須磨・垂水） 神戸市精神保健福祉センター連携 ・土砂災害防止パネル展（東灘）6月 六甲砂防事務所連携 ・神戸市認知症にやさしいまちづくり条例施行PR・世界アルツハイマーデー関連展示「人にやさしくみんな明るく～認知症なんてこわくない」（中央）9月 介護保険課連携 <p>【来館者の様子】</p> <p>パネルの記事や本を熱心に読まれている方が多く、年齢にかかわらず、関心の高い身近な問題であることがよくわかった。</p>
評価	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内に向け定期的に新着図書やイベント情報を発信し、資料や情報の提供を行った。 ・他部局と連携し、市政の取り組みやキャンペーンを紹介する各種展示を行うとともに、課題解決につながる資料紹介を行い啓発に努めた。 ・他部局との事業連携や市政情報の発信など、行政支援に果たす図書館の役割について印象付けた。 <p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「行政支援に果たす図書館の役割」を印象付ける取り組みは、大切。例えば、認知症支援への図書館の取り組みなど、継続して発信していただきたいです。 ・地域に関する情報の確実な収集、提供については高く評価することができる。今後は、行政資料等の地方公共団体の資料そのものの電子図書化と検索可能なディスカバリーサービスの導入をセットで考え、少しずつでも公共図書館が地方公共団体の情報のポータルサイトとなることに奮闘すべきと考える。 ・身近に行われているが、わかりにくい市の事業などの理解を深めるために市民に伝えることは、市立図書館として新しい機能として評価できる。

評価
A

5. 他部局や地域の社会教育施設、民間の関係団体等と連携し、講座、企画展示などを行うことによって、多様な学習機会を提供する。

<p>評価のポイントと取組事例</p>	<p>(1) 児童館、公民館、動物園、埋蔵文化財センター、青少年科学館、神戸市精神保健福祉センター、神戸アーカイブ写真館、日本政策金融公庫、NPO 法人、福祉団体等と連携したおはなし会、セミナーや講座、展示の開催と参加者の声、マナビィ単位認定対象講座の開催数</p> <p>イベント実施回数 327 回 参加者 9,997 人 展示 113 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「謎解き？六甲絵葉書など今昔パネル展」(東灘・灘・三宮・新長田・須磨・垂水・西) 7月～10月 神戸アーカイブ写真館連携 ・阪神・淡路大震災24年パネル展(東灘・灘・三宮・新長田・須磨・垂水・西) 1月～2月 神戸アーカイブ写真館連携 ・「Croak!世界の不思議なカエル 原画展」(三宮)6/1～6/14 (神戸市在住イラストレーター黒川宇吉氏) ・「田岡和也展 兵庫景」(兵庫)11/11～12/9 (地元画家田岡和也氏) ・すくすく赤ちゃんセミナー 区役所連携 全地域館で実施 ・公民館サマースクールにて、バックヤードツアーとブックコーティングを実施(中央)8/22 41人 ・「椎名誠さんトーク」ふたば学舎イベント会場で関連図書の出張展示(中央)12/16 ・ビジネス支援講演会「起業(ゆめ)を形に」(中央)2/16 13人 日本政策金融公庫連携 【参加者の声】「起業ということが身近になった。ハードルが少しさがってよかった。」 「分かりやすく為になった。」 ・神戸キワニスこども文庫おはなし会「英語絵本であそぼう！」(中央)3/3 30人 ・「わくわく★工作ひろば」(東灘)8/19 194人 東灘マスターズの会連携(再掲) ・「気軽に落語会」(灘)3回 83人 楽喜落語研究会 ・神戸大学天文研究会共催イベント「夏の夜空とわく星」(灘)8/8 19人 ・「六甲山発郷土誌」(灘)9/16 10人 六甲山を活用する会 ・ビジネスセミナー「クラウドファンディングに挑戦したい！」 生島正氏(NPO Local Creation)講演会(三宮)25人3/20 ・「ちいきいと vol.24 神戸市民ならこれを読み 篇」(兵庫)6/10 67人(再掲) ・音で体感♪読み聞かせ「神戸空襲の記憶」(兵庫)8/19 21人 神戸空襲を記録する会ほか連携 ・地域商業活性化事業(地域連携型)出張おはなし会、出張図書館、クイズラリー、読書感想文書き方講座、絵本の選び方講座(兵庫)8月・11月・12月 ジョイエール御旅連携 ・「兵庫駅南公園こどもフェスタ」(兵庫)8月・2月 駅南公園こどもフェスタ実行委員会連携 ・「障害者が地域で暮らすこと@図書館」(兵庫)12/7 6人 自立生活センターリングリング連携(再掲) ・「街の図書館 読書交流会」(北)8/26 8人 大人の居場所研究舎なりわい主催 ・「中国帰国者図書館見学会」(新長田)7/3 12人 NPO法人神戸定住外国人支援センター連携(再掲) ・「生活日本語クラス図書館見学会」(新長田)7/24 8人 NPO法人神戸定住外国人支援センター連携 ・「夏休みわいわい英語教室&夏休み読書会」(新長田)4回 計22人 ※外国にルーツを持つ小学生を対象とした絵本の読み聞かせ、折り紙、英語教室 NPO法人神戸定住外国人支援センター連携 ・KIT(子育て総合支援施設)サイエンスカフェ(新長田)11/25 19人 神戸常磐大学連携 ・KOBE 須磨さらくえん「青空市」参加 読み聞かせ体験(須磨)6月・10月・3月 182人 ・「垂水の浜の生き物とふれあおう！」(垂水)7/28 14人 マリンピア神戸さかなの学校、神戸市立栽培漁業センター連携 <p>【参加者の様子】 生きている魚などを目の前にして、子供たちは熱心に見入っていた。夏休み自由研究の参考にメモをとる親子の姿も見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「てづくりサマーフェスタ親子で空気砲づくり」(西)7/16 17人 西区民センター連携 ・「雨と緑と・・・のワークショップ～雨の日を好きになってみませんか？」(西)3回 計72人 神戸市立工業高等専門学校都市工学科・総合運動公園連携 <p>(2) マナビィ単位認定対象講座の開催数 24件</p>
---------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評
価

【図書館の自己評価】

- ・行政他部局等と多様に連携し、工夫を凝らした多くの企画により学習の機会を提供。地域の施設、団体との連携により、その館ならではの特色ある取り組みができています。図書館外での実施も多く、地域の中で図書館や本に親しみを持ってもらえるよう努めた。

【図書館協議会の評価・意見】

- ・地域の施設、団体と連携しようと努力している姿勢は感じられる
- ・地域の施設や団体と連携して、老若男女、国籍、障害などを越え広く人々に向けて、様々な企画を実施されており、続けていただきたいです。
- ・神戸にあるたくさんの文化的な施設をより有効に活用するため、図書館と連携することは大変価値のあることだと思います。
- ・他部局や地域の社会教育施設、民間の関係団体等と連携して実施したイベント回数が327回、参加者9,997人、展示113回については、高く評価することができる。今後も積極的な実施を期待したい。
- ・個別に活動することが多かった各関連施設を結びつけ、市民ニーズに応える活動を数多く実施したものとして評価できる。

評 価

A

6. 総合教育センター学校図書係と連携した学校図書館の機能強化や学校図書館を活用した授業等への支援として、団体貸出や司書による運営アドバイスなどを行う。	
評価のポイントと取組事例	<p>(1) 司書教諭、学校司書への研修等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/9 学校司書1年次研修 市立図書館の説明と館内見学 学校司書 20人 ・5/15 神小研図書館部総会での近刊図書ブックレビュー 教員 30人、学校司書 14人 ・7/23 学校司書経験者研修での講師 学校司書 90人 ・10/17 市民向け講座「講座 学校図書館」での講師 受講 49人、修了 45人 ・12/18 神小研図書館部「選定の会」での近刊図書ブックレビュー 教員・学校司書 36人 <p>(2) 学校図書館への団体貸出、「テーマ本集め」の実施 475件 14,182冊（全館）</p> <p>(3) 中央図書館における小学校総合学習用図書、幼稚園巡回用図書の貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合学習用図書セットの利用実績 197回、20,512冊 ・古くなった図書買い替え（35セット約3,700冊うち650冊） 「災害・防災」セットを追加購入 1種類2セット（110冊） ・幼稚園巡回図書 30年度 市立幼稚園 36回（4,320冊）、私立幼稚園 12回（1,440冊） <p>(4) 出前授業「本へのとびら」の全館実施と参加者の声等</p> <p style="padding-left: 2em;">※学校に出向き小学校3・4年生を対象とするブックトーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東灘、灘、三宮、北、兵庫、新長田、須磨、垂水図書館で実施 <p>【参加者の様子】（新長田）</p> <p>「協力する大切さ」</p> <p style="padding-left: 2em;">えほん、読み物、主題の本それぞれから、生き物や人間の協力する形をアプローチした。冒頭ではテーマを伝えずに進めたが、児童達から「大切なのは協力すること」と声が上がリ、紹介した本の内容から、本質を理解してもらうことができた。</p> <p>「1/2成人式 成長」</p> <p style="padding-left: 2em;">前日に1/2成人式を行い（学校行事）、当日は家族の大切さから成長を感じられる内容で、主に絵本を紹介・読み聞かせした。子ども達は、まわりの助けがあつて今の自分があるということをそれぞれに解釈し実感していたようだった。</p>
評価	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書への研修会等を実施し、最新の情報提供や運営アドバイスを行い、学校図書館・学校司書へ支援した。 ・学校からの具体的なテーマに応じた図書を選択し貸し出す、テーマ本貸出を全館で数多く行い支援した。 ・総合学習用図書セットを貸し出すことで学校図書館での読書活動を支援した。 幼稚園に対しても巡回用図書を貸し出し、幼稚園での読書活動を支援した。 ・出前授業「本へのとびら」では各学年に沿ったテーマでブックトークを行い、本質を理解してもらい読書の楽しさを伝えた。 <p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館、学校司書への支援や研修は、引き続き力を入れて実施していただきたい。古くなった、学校用幼稚園用の図書の買い替えも、早い目に取り組んでほしいです。 ・「司書教諭、学校司書への研修等の実施」「学校図書館への団体貸出、『テーマ本集め』の実施」「中央図書館における小学校総合学習用図書、幼稚園巡回用図書の貸出」「出前授業『本へのとびら』」の取り組みは高く評価することができる。 ・学校図書館の活動が司書の参入で活発になってきており、これまであまりなかった連携を強め、市立図書館の蓄積を伝え、各図書館の強みを生かす活動として評価できる。 ・中学校以上への支援についても、取り組みが必要である。 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p style="text-align: center;">評価</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</p> </div>

7. 図書館に対する理解と関心を高め、利用者層の拡大を図るため、ホームページ等を活用した積極的な情報発信に努める。

評価のポイントと取組事例	<p>(1) 行事や展示の紹介などコンテンツの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各館のページを定期的に更新（年4回）し、開催済みイベント・定例イベントのPR等を掲載 ・KOBE 電子図書館（電子書籍の試行実施）の案内ページを作成し、利用案内等を掲載 <p>(2) 他部局、関係機関、民間団体等が運営するインターネット情報発信への情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こうべ子育て応援カレンダー」への情報提供（中央・兵庫） ・「KOBE 子育て応援団ママフレ」への情報提供（全館） ・イベントサイト「KOBE Today」にイベント情報掲載 <p>(3) Facebook での発信と反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載記事数 157 件 「いいね!」数 715 件（平均 4.55 件）
--------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各館のページに毎月の行事予定等を掲載するとともに、最近のイベントやトピックを知ってもらえるよう定期的な更新を行い積極的な広報に努めた。 ・KOBE 電子図書館の案内ページを作成し、試行実施のPRに努めた。 ・インターネットによる情報発信の機会を捉え、情報提供に努めた。 ・FaceBook を活用し、業務や行事についての日常的な情報発信に努めた。 ・定期更新回数を増やすことができなかった。 <p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページには、必要な情報への案内がコンパクトに網羅されていると思いますが、第一印象としてちょっと事務的な感じがあります。ホームページを見たくなるような仕掛けが欲しい。 ・ホームページ等を活用した市民への情報発信における課題は、定期更新回数を増やすことであり、その点の一層の取り組みを期待したい。 ・ホームページを更新しても、それを伝えないと閲覧しないことが多いので、フェイスブックの活用は評価できるが、より告知機能を強めるために、LINE 公式ページなどさらにSNSの活用が求められる。 <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100px; height: 60px;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">評 価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 10px; font-size: 24px;">B</td> </tr> </table> </div>	評 価	B
評 価			
B			

8. 自動車図書館を活用し、図書館から離れた地域の子供と保護者に対する子育て支援のための情報提供に努める。			
評価 の ポ イ ン ト	<p>(1) 地域のイベントや行事予定、区役所等が実施する子育て支援事業などの情報の紹介、提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新のチラシ、パンフレットを備え付けのパンフレットラックに設置、配布 <p>(2) 妊娠、乳幼児の病気・健康管理、遊びや成長など育児、子育てに関する図書コーナーの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子育て支援コーナー」を自動車図書館の棚内に設置 ・子育て関連図書の新刊を継続的に購入し、児童書は新刊の他に傷んだもの等の買い替えを実施 		
評 価	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ・パンフレットを積極的に収集し、地域の情報提供を行った。 ・本のリストや読書記録帳を配布し、子育て世代を支援し、子供たちを読書に誘えるよう努めた。 ・子育て関連図書を継続的に購入し、積極的に買い替えも行い、資料の充実を図った。 <p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館から離れた地域こそ大切に、という気概で、継続して頑張っていたきたい。 ・図書館までの距離の遠い地域、高齢者、子育て中の人々にとってたいへん価値のある取り組みです。 ・自動車図書館の巡回は、図書館遠隔地の利用者にとってきわめて重要なサービスであり、今後も継続することを期待したい。また、「子育て支援」などテーマをもった棚を自動車図書館に設けることはきわめて意欲的な取り組みであり、高く評価することができる。 ・自動車図書館は、市域の広い神戸にあっては、各市立図書館から交通の便がわるい地域へのサービスとして評価できる。また、一歩進めて移動が困難な高齢者に対する貸借サービスも今後の課題として検討されたい。 <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100px; height: 100px; margin-left: auto;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">評 価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 10px;">A</td> </tr> </table> </div>	評 価	A
評 価			
A			

9. ボランティアに対し、活動の機会や場所に関する情報提供に努めるとともに、地域連携推進課教育・地域連携センター等と協力し、交流会や研修等を実施する。

<p>評価のポイントと取組事例</p>	<p>(1) 読み聞かせに必要な絵本の団体貸出などの活動支援 ボランティアグループ等（学校園・児童館等の機関を除く）203 団体に対して団体貸出を行った</p> <p>(2) ボランティアが参加するおはなし会等の開催、企画や運営にボランティアが参加する協働事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによるおはなし会は、児童・乳幼児・大人等様々な年代を対象に実施 ・定例行事 全館で 28 団体が、1 か月あたり 44 回活動 ・協働事業 「アニマシオン～本であそぼう！～」(灘・新長田) 5 回 あにましおん探偵団 「夏休み特別おはなし会」(中央) 8/7 56 人 こうべ子ども文庫連絡会と共催 <p>(3) ボランティア（ボランティアグループ）の交流や仲間づくり、情報交換のための交流会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア交流会（第 4 回ボランティアスキルアップ講座）(中央) 2/8 36 人 ・朗読ボランティア交流会（垂水）7/17 11 人 <p>(4) ボランティアに対する県立図書館等が実施するボランティア向け講習会や助成事業等の情報収集と情報発信</p> <p>当館実施の講座を中心に「子どもゆめ基金」等について、各館で活動しているグループに伝える他、こうべ子ども文庫連絡会を通じて広報</p> <p>(5) ボランティアの育成やスキルアップを図る研修等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞多聞小学校での読み聞かせボランティア研修 6/29 32 人 ・ボランティアスキルアップ講座 第 1 回 「大人のためのおはなし会」（読書週間行事を兼ねる・一般の方も参加）10/28 26 人 第 2 回 「おはなし会のためのお遊び・わらべうた」 12/6 46 人 第 3 回 「児童書近刊紹介」 1/11 30 人 第 4 回 「読書ボランティア交流会」 2/8 36 人（再掲） ・読み聞かせびと養成講座（教育・地域連携センター主催） 会場（中央図書館・東灘図書館 各 1 回）と資料の提供を行った
<p>評価</p>	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体に対して図書を貸し出し、活動を支援。多様な活躍の場を提供した。 ・交流会やスキルアップのための講座を開催し、より実りある活動をしていただけるよう支援を行った。 ・児童書近刊紹介を初めてボランティア対象で実施し、非常に好評であった。 <p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館ボランティアとして、誰のために何のために活動をするのかを考える機会を含めて、今後も研さんの場を多く作っていただきたいと思います。 ・ボランティアグループへの絵本の団体貸出、またおはなし会の実施などは今後も積極的に続けていただきたい地域連携活動であると考えている。 ・図書館がすべてを担うのではなく、たとえば本離れが顕著な若い養育者に対して、子どもにとっても養育者にとっても本の重要性を知っていただくために必要な活動を支援するものとして評価できる。 <div style="text-align: right; border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>評価</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> </div>

10. 電子書籍導入を進めるとともに、中央図書館所蔵の貴重資料のデジタル化と館内端末やホームページでの公開をさらに進め、従来の活字資料とあわせて体系的に紹介する。			
評価のポイントと取組事例	<p>(1) KOBE 電子図書館の試行実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽天(株)と協定を締結し、6/22 より電子図書館サービス「Rakuten Over Drive」を導入 ・市民満足度調査(12月)で電子図書館に関する質問を設けた 電子図書館を知らなかった人は43%、利用したことがある人は21%、知っているが利用したこと がない人は36%だった。 ・PR活動 <ol style="list-style-type: none"> 1. ネットモニターへの情報発信 4,745人 2. 外国人学校へのPR 約1,500人 3. 神戸市立幼稚園39園へチラシ配付 1,809人 4. 中央図書館1号館1階での説明会 30人 5. 特別支援学校 病弱学級へのPR など ・平成30年度の実績(6/22～翌年3/31) ID登録者数 8,104人 貸出者数 17,009人 貸出冊数 25,405冊 全書籍数 13,473冊 <p>(2) 貴重資料デジタルアーカイブズの紹介展示(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示「貴重資料デジタルアーカイブズで見る明治期の神戸観光地 神戸名所」(中央)4/10～4/30 ・展示「語り継ぐ『神戸市大水害』～貴重資料デジタルアーカイブズ」より(中央)6/27～7/16 ・展示「湯のまち有馬～神戸市立図書館の蔵書で見る」(中央)1/10～1/30 		
評価	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KOBE 電子図書館の試行実施に関して、地域館のイベント時にもチラシを配付するなどPRに努め、新規登録者の獲得につなげた。 ・テーマを決めて、貴重資料デジタルアーカイブズを紹介するパネル展示を開催し、地域への興味関心を高めた。 <p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから、求められる分野です。取り組みを続けていってほしい。 ・電子図書館サービスがもたらす市民の情報行動への利便性は、単に紙の本を電子化したということにとどまらず、①音声読み上げによる視覚障害等を有する利用者に対する読書アクセシビリティの確保、②日本語を母語としない定住外国人への多言語対応による多文化共生社会の実現、③ディスカバリーサービスを導入することによって可能となる電子図書、自館制作の貴重書データベースや新聞記事等の商用データベースなどの統合検索によるレファレンスサービスの高度化・簡便化が実現できることにある。現在のKOBE 電子図書館は電子書籍の貸出サービスという黎明期であり、実証実験から契約ベースによる積極的な展開に期待したい。 ・書籍自体が紙媒体だけではなく現在の、時代の流れに合わせて多様な媒体に対する対応として評価できる。 ・登録者数、利用の状況が多いのかどうか判断が難しい数字。利用したいと思うサービスになっているのかについての分析が必要では。 <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">評 価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table> </div>	評 価	A
評 価			
A			

11. 地域図書館の蔵書の利用度に応じて、経年劣化による傷んだ蔵書を更新する。			
評価 の ポ イ ン ト	<p>(1)地域図書館の蔵書約2万冊を利用度に応じて買い直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料として高額で買い替えしづらい既存の全集や、内容の古くなった辞典・辞書・図鑑類を中心に購入 (購入内容としては、新編日本古典文学全集や日本美術全集、谷崎潤一郎全集、松本清張全集、絶滅危惧動物百科、多言語辞書等) ・平成30年度 約1万3千冊受入(平均単価2,300円) 		
評価	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書構成や利用状況を考慮しつつ計画的に図書の除籍を行い、各館の書棚の状況に応じた種類の図書を積極的に購入。大規模な入替えを実施することにより、魅力的な書棚になるよう努めた。 <p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新鮮で魅力的な書棚をつくるためにも、利用頻度に応じて蔵書を除籍し、買い替える作業は大事だと思います。ただ、絶版となっている児童図書などで、別の扱いとする見極めと配慮が欲しいものもあると思います。 ・蔵書の更新はきわめて重要な公共図書館の任務であり、地域図書館の2万冊の買い直しは評価することができる。 ・地域図書館の機能を生かすために、所蔵だけでなく、地域ニーズに対応した活動として評価できる。 <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <table border="1" style="width: 100px; height: 60px; margin-left: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">評 価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table> </div>	評 価	A
評 価			
A			

12. 人口規模、貸出件数に見合った図書館の整備に向けて、新西図書館に関する基本計画を策定する。	
評価 の ポ イ ン ト	<p>(1) 図書館利用者や地域住民を対象とするアンケートの実施・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/12～6/24 利用者向け=541件、6月～7月 地域住民=869件回収 <p>(2) 有識者と市民からなる検討会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月～9月 計3回開催 居心地の良い空間、集まって学べる場所、区民が誇りに思える図書館に、などの意見を得た <p>(3) 基本計画(案)の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの実施 区民の意見の聞き方、今後の運営方法、レファレンス機能、開館時間延長などについての意見のほか、ユニバーサルデザインの目的にかなった施設とするため障害のある当事者に意見を聞くことなど、24件の意見 <p>(4) 基本計画の策定 (12月)</p>
評価	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート実施と検討会開催を経た上で基本計画(案)を作成し、パブリックコメントを実施。いただいたご意見を反映させた基本計画を策定し、ホームページ等で公表した。 <p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新西図書館に関する基本計画(案)の作成など、図書館整備に向けての取り組みは評価できる。 ・ただ標準的な図書館を整備するのではなく、アンケートなどにより住民意識を反映しての新図書館整備は評価できる。 <div style="text-align: right; border: 2px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 20px auto;"> <p style="text-align: center;">評 価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> </div>

13. 都心・三宮の再整備にあわせて三宮図書館を移転するにあたり、新三宮図書館の基本構想を策定する。

<p>評価のポイント</p>	<p>(1) ネットアンケートの実施 ・ 5/20～6/19 340 件の回答</p> <p>(2) 有識者と市民からなる検討会の開催 ・ 7月～9月 計3回開催 多世代の人・多様な人が利用しやすい図書館、多言語・多文化との出会いのある図書館。他機関につなぐ機能、バスターミナルやホールとの連携などの意見を得た。</p> <p>(3) 基本計画(案)の作成 ・ パブリックコメントの実施 お話の部屋、カフェ、こどもトイレ等施設や設備について、アクセスの心配、開館時間、運営方法について、子育て世代にもっと意見を聞くことなど 17 件の意見</p> <p>(4) 基本計画の策定 (12 月)</p>
<p>評価</p>	<p>【図書館の自己評価】 ・ アンケート実施と検討会開催を経た上で基本計画(案)を作成し、パブリックコメントを実施。いただいたご意見を反映させた基本計画を策定し、ホームページ等で公表した。</p> <p>【図書館協議会の評価・意見】 ・ 各世代、それぞれ居場所があるような親しみを感じる図書館を実現するためにも、多くの意見を聞く機会を作ってほしい。 ・ 新三宮図書館の基本構想について、多世代・多様な人、多言語・多文化が謳われているが、それを実現するための ICT 活用を含めた具体的な取り組みを期待したい。 ・ 利用者ファーストの図書館構想の策定として評価できる。</p> <div style="text-align: right; border: 2px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 20px auto;"> <p>評価</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> </div>

14. その他	
評価のポイントと取組事例	<p>(1) 児童向けパスファインダーの配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改訂版を配布 「世界遺産」「昔の暮らし」「地震」「韓国・朝鮮」「昆虫」「星」 7月（東灘・灘・三宮・新長田・須磨・垂水・西）（再掲） ・「のりもの」7月、「むし」11月、「妖怪」2月（兵庫・北・北神） ・改訂版を配布 「韓国」「オリンピック」「木の実・種」7月（兵庫・北・北神） ・「どうぶつ（ほにゅうるい）」3月（兵庫・北・北神）（再掲） <p>(2) 調べ学習関連企画の実施と参加者の声等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「調べてつくるふしぎ新聞」（中央）8/10 6人 【参加者の様子】 時間がかかりオーバーしたが、皆最後まで頑張って百科事典や図鑑を調べ、新聞を完成させた。 ・夏休み調べ学習「調べてみよう！昔の暮らし・今の暮らし」（北）7/28 3人 於：内田家住宅 ・自由研究相談室（西）「神戸の遺跡相談室」8/1 9人 「児童文学相談室」8/3 10人 「科学相談室」8/23 7人 ・「オリンピック博士になろう」（北神）11/18 6人 ・「図書館探検隊」（垂水）8/5 5人 <p>(3) 「だっこでおはなし」等乳幼児と保護者向け事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館との連携による「だっこでおはなし」の開催（中央、東灘、三宮、兵庫、北、須磨、垂水、西） ・出前トーク「子供の発達と読書」（中央）3回 48人
評価	<p>【図書館の自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童向けパスファインダーは改訂も行い、新しい情報を提供できるよう努めた。 ・夏休みの時期だけでなく秋にも調べ学習イベントを行い、学習支援に努めた。 ・「だっこでおはなし」では保護者の方と直接お話しすることで家庭での読み聞かせの後押しとなり、実際に本を手にとってご覧いただくことで絵本選びの参考にもなっている。図書館への来館のきっかけにもなっている。 <p>【図書館協議会の評価・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児と保護者向けの事業は、引き続き力を入れて続けて行っていただきたいです。 ・「児童向けパスファインダーの配布」「調べ学習関連企画の実施」「だっこでおはなし等乳幼児と保護者向け事業の実施」はいずれも次世代の図書館利用につながる取り組みであり、高く評価することができる。 ・いずれも図書館に親しんでもらい、身近な学習施設として利用促進をはかる仕掛け作りとして評価できる。 <div style="text-align: right; border: 2px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 20px auto;"> <p>評 価</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> </div>